



公益社団法人 日本青年会議所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 TEL:03-3234-5601 FAX:03-3265-2409

第28回 **人間力大賞**  
 ~青年版国民荣誉赏~  
**事業報告書**



公益社団法人 日本青年会議所

## 目次

3	人間力大賞の歴史
4	主催者挨拶
5	選考委員長挨拶
6	選考委員紹介
7	人間力大賞概要
8	推進活動
10	選考会報告
11	授賞式典
12	PRブースを設置
13	受賞者達との合同会議
14	人間力大賞グランプリ紹介 安武 隆信
15	人間力大賞準グランプリ紹介 毛利 公一
16	人間力大賞準グランプリ紹介 塩崎 明子
17	人間力大賞受賞者紹介 石原 ゆり奈
18	人間力大賞受賞者紹介 北村 政記
19	人間力大賞受賞者紹介 櫻井 理
20	人間力大賞受賞者紹介 永井 陽右
21	人間力大賞受賞者紹介 二村 そよか
22	人間力大賞受賞者紹介 萩生田 愛
23	人間力大賞受賞者紹介 廣岡 政幸
24	過去の受賞者支援活動
25	担当委員長挨拶
26	協賛企業・後援団体紹介



## 人間力大賞の歴史

- 1987年** 「TOYP大賞」(Ten Outstanding Young Persons = 10人の傑出した若者たち)を創設。  
初年度は、対象を全国の青年会議所会員とし、「国際交流」をテーマに募集。
- 1988年** 「地域活性化」をテーマとして開催。授賞式典を青年経済人東京会議にて行う。
- 1989年** 授賞式典を赤坂プリンスホテルにてディナーショー形式を取り入れ厳粛の中、華やかに開催。
- 1991年** 開催5周年を迎え、活動の更なる充実を図ることを目的とし、「TOYP倶楽部」を発足。初代会長は、1988年にTOYP大賞最優秀賞を受賞した富田徹さんが就任。
- 1994年** 授賞式典を全国会員大会盛岡大会にて行う。また、TOYP倶楽部の方々のトークセッションやパネルなどを展示し、活動を幅広く紹介。
- 1995年** 「新しい地球市民の時代」をテーマに、日本人初の女性宇宙飛行士向井千秋さん含む10名が受賞。
- 1997年** 大竹美喜(現アフラック創業者・最高顧問)が選考委員長に就任。現在にいたるまで多大なるご支援・ご協力をいただいております。
- 1999年** 授賞式典をサマーコンファレンス パシフィコ横浜にて開催。
- 2000年** 21世紀の日本創造に向け、新たな価値観に基づき情熱をもってチャレンジしている方々を対象に、新しくエトバスノイエス特別賞を設け、野田聖子さんが受賞。
- 2001年** 日本JC創立50周年、TOYP大賞開催15周年を迎え、今後のJC運動の柱でもある「人間力開発」に視点をおき、事業名称を「人間力大賞【TOYP事業】」に変更。
- 2002年** 「夢をかたちにそじてかたちを実現に」をテーマのもと、TOYP事業の中軸として「人間力大賞」を開催。
- 2003年** シンボルマーク採用。
- 2006年** 現行のWEB申請方式を導入。20年目の開催として、授賞式典には多くの歴代受賞者も参加。
- 2007年** 式典祝賀会を横浜大榎橋ホールにて開催。  
NPO法人人間力開発協会設立式典をグランドプリンス赤坂にて。
- 2008年** “学校ライブ”の活動を行う大野靖之さんがグランプリを受賞。
- 2009年** 新たにシンボルマークを一般公募により採用しました。
- 2010年** この年より最終選考会をサマーコンファレンス パシフィコ横浜にて開催。人間力大賞ジュニア版を開催。
- 2011年** 授賞式典をサントリーホールにてフィル演奏を取り入れ豪華絢爛に開催。
- 2012年** 明るい未来と世界平和の実現を目指し、社会に貢献する若者たちの活動を、さらなる飛躍に繋げるための取材記録として、万葉舎より人間力大賞大年鑑が創刊された。
- 2013年** 2012年グランプリの伊藤文弥さんがJCI(国際青年会議所)主催のTOYP2013を受賞

## 主催者挨拶



公益社団法人日本青年会議所  
会頭  
鈴木 和也

平素より、公益社団法人日本青年会議所が主催しております人間力大賞事業に深いご理解とご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

この人間力大賞は、JCI(国際青年会議所)の事業の一環として1987年に「TOYP大賞」(Ten Outstanding Young Persons = 「10人の傑出した若者たち」)の名称でスタートしました。以来、28回目を迎える本年まで、エントリーして頂いた多くの若者たち、彼らを発掘する各地の青年会議所、そして多くの関係者の皆様のご協力の下、途切れることなく傑出した若者たちに光を当てて広く発信し、彼らの活動を支援するとともに、多くの方々の心に夢と希望を呼び起こしてまいりました。

本年は、過去最高となる185名の意気あふれる若者たちのエントリーを頂きました。第一次から第三次までの各選考を経て、最終選考は初の試みとなる東京ミッドタウンでのオープンスペースを会場とした「プレゼンテーション会」として開催し、会場を行き交う多くの方々が、ファイナリストの情熱あふれるプレゼンテーションに足を止めて聞いて頂きました。そして受賞式典となる「第28回人間力大賞グランプリ発表会」では、プレゼンターに初の国民栄誉賞受賞者であります王貞治様をお迎えし、3000名もの来場者が見守る中、「青年版国民栄誉賞」と呼ぶにふさわしいフィナーレを迎えることができました。

また本年は、安武氏のほか9名の傑出した若者たちが各奨励賞を受賞されました。活動している地域や分野は様々ですが、彼らに共通しているのは、揺るぎない明確な夢やビジョンを持ち、その実現のために創意工夫を重ねて挑戦し続けていること、そして、その過程において自らが成長することはもちろん、周囲の人々をも巻き込み、意識変革を呼び起こしていることです。今回の人間力大賞事業を通して受賞者たちの活動や情熱に心動かされた多くの人々が、活動を支援し、あるいは自らが意気あふれる人財として各々の活動の一步を踏み出して頂くことを願って止みません。

さらに、昨年の第27回人間力大賞でグランプリ・内閣総理大臣奨励賞を受賞された長屋宏和氏が、人間力大賞運営委員会からの推薦により秋の園遊会に招待され、天皇皇后両陛下から労いと激励のお言葉を賜るとともに、安倍総理大臣との面会も果たし、読売新聞全国版においては長屋氏の運動が記事として取り上げられ、力強い運動の発信へとつながりました。そして、その園遊会での出会いから国土交通省のご協力の下、Google社との車いすユーザー向けルート検索機能開発の連携プロジェクトも始まり、大きな成果となりました。

結びに、第28回人間力大賞にエントリーを頂きました全ての皆様、毎年多大なるご協力を頂いております大竹喜美選考委員長をはじめとする選考委員の皆様、本事業の趣旨にご賛同を頂きました協賛企業の皆様、後援各都府、諸団体の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、受賞者をはじめエントリーを頂いた全ての若者が、今回のエントリー、そして受賞を機にますますご活躍されることを心よりご祈念申し上げ、主催者のご挨拶とさせていただきます。

## 選考委員長挨拶



アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
創業者・最高顧問  
大竹 美喜

人間力溢れる高い志と強い信念を持ち、全国各地で活躍する傑出した若者の活動を広く発信し、応援する人間力大賞は、お陰様で本年で28回を迎え、7月のグランプリ発表会をもちまして終了いたしましたことをご報告申し上げます。

本年は、過去最高となる185名のエントリーをいただきました。このように多くの候補者を発掘していただいた、各地の会員会議所の皆様、関係者の皆様のご尽力に対しまして選考委員を代表して厚くお礼申し上げます。

本年度の授賞式典は、日本青年会議所のサマーコンファレンスの公式ファンクションとして「人間力大賞グランプリ発表会」を組み込みました。その結果、3000名にものぼる出席者を迎えての中での発表会となり、本事業を会議所内外に広めることができました。

人間力大賞のファイナリストの皆さんは、時代を見つめた鋭い洞察力の持ち主であり、揺るぎない善意のもと、それぞれの道を歩まれている若者たちであります。今年も素晴らしい活躍をされている方々を発掘し、表彰できましたことを嬉しく思います。

スペシャルプレゼンターとして、日本で初の国民栄誉賞を受賞された王貞治氏にご登壇いただき挨拶と、グランプリ受賞の安武隆信氏とのトークセッションをお願いしました。このことにより本大賞が青年版国民栄誉賞として、より認知されるものになりました。改めてお礼申し上げます。

皆さんには、社会を少しでも良くしよう、人の役に立ちたいと思い、他の人がするのを待っているのではなく、「人がやらないなら、私がやる」とチェンジメーカーとして自ら動き出し、コンパッション(情熱とひたむきさ)と冷静なプランニングによって一人でも多くの方が活動していただくことを期待しています。

少子高齢化の時代を迎え、生産年齢人口が加速度的に減少していきます。そして人や物、情報は今や国境がなく、世界を駆け巡り、目まぐるしい変化を遂げている。こうした時代において、日本の成長、発展には今回受賞された皆さんの活躍なくしてありえません。

さらに、世界の発展に貢献するためには、「人間力」を学び、机上の空論ではない、経験と実績に基づいた実論、実学を身につけ、そして強い意志と行動力で大きな夢を描くことが必要不可欠だと思います。また、グローバル化を迎えた今だからこそ、日本人としてのDNAを再確認するときであると思います。

官邸直轄の教育再生実行会議でも、グローバル人材育成の重要性を提言し、育成を目指しております。そのためにも、人間力大賞がこれからも日本全国47都道府県の傑出した若者たちが、未来に向けて大きく前進するための励みとなり、地方自治にふさわしい賞となることを願ってやみません。

最後になりましたが、本年度受賞された皆様のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。併せて、本事業の趣旨にご賛同いただいた協賛企業の皆様、後援各都府、団体の皆様、選考委員を務めていただいた皆様に改めて心より感謝申し上げます。

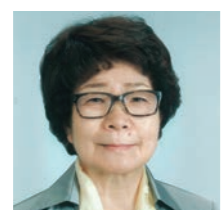
## 選考委員紹介



選考委員長  
大竹 美喜 様  
アフラック  
アメリカンファミリー生命保険会社  
創業者・最高顧問



伊藤 文弥 様  
2013年JCI TOYP受賞者  
2012年人間力大賞グランプリ受賞者



尾関 とよ子 様  
株式会社万葉舎  
代表取締役



佐々木 紀 様  
衆議院議員  
JC議連 代表幹事



小田 與之彦 様  
一般財団法人まちづくり地球市民財団  
理事長



出口 和宏 様  
総務省自治行政局地域振興室  
室長



友田 雅明 様  
人間力大賞年鑑  
編集委員長



米谷 啓和 様  
財団法人まちづくり市民財団  
理事長



西川 りゅうじん 様  
マーケティングコンサルタント



野口 雄史 様  
テレビ東京「ガイアの夜明け」  
チーフ・プロデューサー



野田 智義 様  
アイ・エス・エル 理事長  
社会イノベーター公志団  
統括運営責任者  
経済同友会  
東北未来創造イニシアティブ協働PT委員長



鈴木 和也 君  
公益社団法人日本青年会議所  
会頭

## 人間力大賞概要

「人間力大賞」は、環境、国際協力、福祉、文化・芸術、スポーツ、その他の分野で積極果敢な活動・挑戦を続けている人間力あふれる若者を発掘し、更なる活躍を期待して国民全体で応援する「青年版国民栄誉賞」として展開します。全国で輝きを発揮している、「傑出した若者たち」にこの賞を贈り、その活動に共感し応援する機運を日本中に広めます。

ともに未来を担う20歳から40歳までの「光り輝く傑出した若者たち」を広く世に発信し、彼らの想い描く「故郷を愛する思い」や「夢をかなえる思い」を共有することで、志を同じくする若者の輪を広げ、活力ある国づくりへとつなげます。

グランプリ 1名 副賞 活動支援金 100万円

準グランプリ 2名 副賞 活動支援金 30万円

入賞 7名 副賞 活動支援金 10万円

### 《人間力大賞エントリー対象者》

20歳から40歳(1974年～1994年生まれ)までの、国内外を問わず、科学技術、医療、福祉、文化芸術、国際交流協力、環境、スポーツ、教育、まちづくり、災害復興等の活動を積極果敢に実践している意気あふれ、光り輝き、傑出した若者。

### 《人間力大賞選考基準》

国や地域を愛する思いや、社会貢献度、影響度、独自性、継続性、将来性が顕著であり、活動実績が認められる「人間力」あふれる光り輝く傑出した若者を選考します。

《主催》 公益社団法人日本青年会議所

### 《後援》

内閣府 総務省 衆議院 参議院 外務省 文部科学省 厚生労働省 農林水産省 経済産業省 環境省 全国知事会  
日本放送協会 東京商工会議所 財団法人まちづくり市民財団 一般財団法人まちづくり地球市民財団

# 推進活動

## エントリー者募集ツール

エントリーの募集を分かりやすく解説したマニュアルを作成し全国の青年会議所及び自治体やマスコミにポスターとチラシをセットにして送りました。

### ◆ポスター



### ◆チラシ



### ◆2つ折冊子



## Facebookの活用

2012年に開設されたFacebookを引き継ぎで活用する事により、蓄積されたファンに対して情報を発信する事が出来ました。



## ホームページの活用

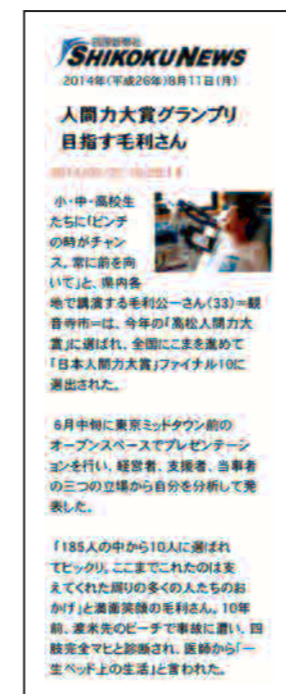
エントリー募集、過去の受賞者の紹介、人間力大賞事業の詳細をホームページで発信しました。本年度も2013年の選考システムを採用し、web上より直接エントリー及び選考を行いました。



## プレゼンテーション会パンフレット



## 多くのメディアで情報発信



## 選考会報告

### 【各種選考会】

#### 第一次選考 2014年5月2日(金)〈185名→30名〉

場所:公益社団法人日本青年会議所会館  
 選考委員:尾関史生氏(人間力大賞年鑑 編集副委員長)  
 尾関俊宏氏(人間力大賞年鑑 ディレクター)  
 奥富精一氏(2013年度人間力大賞運営委員会委員長)  
 人間力大賞運営委員会スタッフ(補助要員)  
 人間力大賞年鑑の編集に携われ、多くの受賞者取材し地域の中の若者の活躍を多く知っている視点で選考して頂きました。  
 人間力大賞の選考基準・人間力大賞の定義に沿ってWEB選考にて開催しました。

#### 第二次選考 2014年5月4日(日)~5月11日(日)〈30名→20名〉

場所:WEB上にて開催  
 選考委員:地区担当常任理事 10名  
 各地域を代表する公益社団法人日本青年会議所地区担当常任理事に地域特性を活かした多種多様な観点から選考して頂きました。  
 人間力大賞の選考基準・人間力大賞の定義に沿ってWEB選考にて開催しました。

#### 第三次選考 2014年5月14日(水)~5月27日(火)〈20名→10名〉

場所:WEB上にて開催  
 選考委員会の委員は外部見識者・後援各都府・人間力大賞協賛各社代表、公益社団法人日本青年会議所会頭  
 選考委員:大竹美喜氏(アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 創業者・最高顧問) / 友田雅明氏(人間力大賞年鑑 編集委員長) / 中台学氏(財団法人まちづくり市民財団 評議員)  
 高島優氏(一般財団法人まちづくり地球市民財団 評議員) / 尾関とよ子氏(人間力大賞年鑑 編集委員長特別補佐) / 出口和弘氏(総務省自治行政局地域振興室室長)  
 藤咲宏臣氏(厚生労働省社会援護局地域福祉課 地域福祉専門官) / 山田啓二氏(全国知事会会長)  
 人間力大賞事業に対する深いご理解のもと、次世代の育成、まちづくり・青少年の育成、地域貢献、福祉・起業といった様々な面から、また各専門分野での経験を踏まえて、運営に対し貴重なアドバイスやご意見を頂きました。結果として10名のより傑出した若者を選定でき、プレゼンテーション会へとつなげることができました。

## プレゼンテーション会

2014年6月21日(土) 18時00分~20時30分

場所:東京ミッドタウン キャンピースクエア

選考委員  
 鈴木和也君 公益社団法人日本青年会議所 会頭  
 大竹美喜氏 アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 創業者・最高顧問  
 友田雅明氏 人間力大賞年鑑 編集委員長  
 野田智義氏 NPO法人アイ・エス・エル理事長  
 伊藤文弥氏 2013年JCI TOYP受賞者、2012年人間力大賞グランプリ受賞者

中台学氏 財団法人 まちづくり市民財団 評議員  
 高島優氏 一般財団法人 まちづくり地球市民財団 評議員  
 尾関とよ子氏 人間力大賞年鑑 編集委員長特別補佐  
 出口和弘氏 総務省自治行政局地域振興室長  
 藤咲宏臣氏 厚生労働省社会援護局地域福祉課地域福祉専門官  
 野口雄史氏 テレビ東京 報道局 報道番組センター 『ガイアの夜明け』チーフプロデューサー  
 西川りゅうじん氏 マーケティングコンサルタント  
 佐々木紀氏 衆議院議員 JC議連代表幹事

第28回人間力大賞の最終選考会(プレゼンテーション会)は東京ミッドタウンにある屋外スペースにて多くの一般市民の前で開催しました。当日は3700名の会場通過者の前でファイナリスト10名により活動説明等のプレゼンテーションをして頂きました。最終選考会(プレゼンテーション会)では多くの方にファイナル10の活動を知っていただく為に公開型の選考にしました。会が終了後に選考委員で討議を行い、人間力大賞のグランプリ、準グランプリ、各奨励賞の協議を行いました。



プレゼンテーション会の趣旨説明をしました。



選考委員長の友田雅明氏にオープニングメッセージをいただきました。



推薦者には推薦理由を述べていただきました。



会場周辺を通りがかった方たちにも立ち止まって見ていただくことが出来ました。



満席の会場にてプレゼンテーションを行うことが出来ました。



ファイナリスト10名による熱いプレゼンテーションを一人7分で行いました。

## 授賞式典

### グランプリ発表会

2014年7月20日(日) 9:30~10:30 場所:パシフィック横浜 国立大ホール

青年会議所の最大の運動発信の場であるサマーコンファレンスの中で、第28回人間力大賞のグランプリ発表会を開催しました。受賞者10名の各種奨励賞の発表は会場の大スクリーンを活かして、活動紹介映像と共に発表しました。  
 グランプリ発表は初代国民栄誉賞受賞者である王貞治氏をスペシャルプレゼンターにお迎えして行いました。それにより、青年版国民栄誉賞である人間力大賞を参加者に印象づける一助になりました。また当日は3000名を超える過去最多の参加者の前で受賞者達の活動を紹介すると共に受賞者の栄誉を讃えられました。  
 2014年も傑出した10名の意気あふれる人財を発掘し、その中でも最も人間力のある若者にグランプリと準グランプリが授与されました。



第28回人間力大賞受賞者達



今年はサマーコンファレンスの中でグランプリ発表会を開催しました。



選考委員を代表して大竹選考委員長より挨拶をいただきました。



会場のパシフィック横浜国立大ホールは多くの参加者で埋め尽くされました。



スペシャルプレゼンターの王貞治様と人間力大賞グランプリの安武隆信さん



準グランプリを受賞した毛利公一さんと塩崎明子さん

## PRブースを設置

### 【受賞者のPRブース】

2014年度は受賞者の活動を広く紹介する取組みとして、最終選考会(プレゼンテーション会)とグランプリ発表会の会場にて受賞者と参加者が直接交流する事が出来る様に受賞者の活動紹介ブースを設置しました。  
多くの参加者に対して受賞者たちが活動をより具体的に説明する機会を作れた事により受賞者達の今後の活動支援に繋げる事が出来ました。

#### プレゼンテーション会



プレゼンテーション会の前後には、ファイナリストの活動をより身近に感じていただくために、自身の活動をPRするブースを設置しました。



共に活動する支援者と協力し、活動PRブースを設営・運営していただきました。

#### グランプリ発表会



第28回人間力大賞グランプリ受賞の安武隆信さんと活動支援者



第28回人間力大賞準グランプリ受賞の塩崎明子さんの活動紹介ブース



多くの来場者と交流をはかる受賞者達



受賞者の活動内容を具体的に聞く参加者

## 受賞者達との合同会議

本年度は第28回人間力大賞受賞者達と今後の人間力大賞を良くする為の合同会議を11月1日に、JC会館で行いました。  
2014年度の人間力大賞の委員会メンバー、2015年度の人間力大賞・褒賞委員会のスタッフ、第28回人間力大賞受賞者、UCのOBが会議に参加し人間力大賞の改善点や受賞後の影響、また今後の活動についての貴重な意見が聞けました。



人間力大賞グランプリ受賞  
内閣総理大臣奨励賞  
日本放送協会会長奨励賞

# 安武 隆信さん



活動エリア：和歌山県

所属活動団体：【こどもの寺 童楽寺】住職  
【童楽寺ホーム】代表理事

推薦：一般社団法人伊都青年会議所

経歴：高野山大学文学部仏教学科卒業(平成10年) 高野山寺院住込奉職(7年間) 和歌山県知事から専門里親認定(平成18年) 【こどもの寺 童楽寺】新寺建立住職(平成19年) 【童楽寺ホーム】代表理事 (里親活動で虐待待児童10名養育) (財)和歌山県健康生きがいアドバイザー協議会最優秀賞(平成20年) (財)全国青少年教化協議会【正力松太郎賞】(平成22年) 【お寺de縁結び】実行委員(婚活支援展開)



## 活動内容

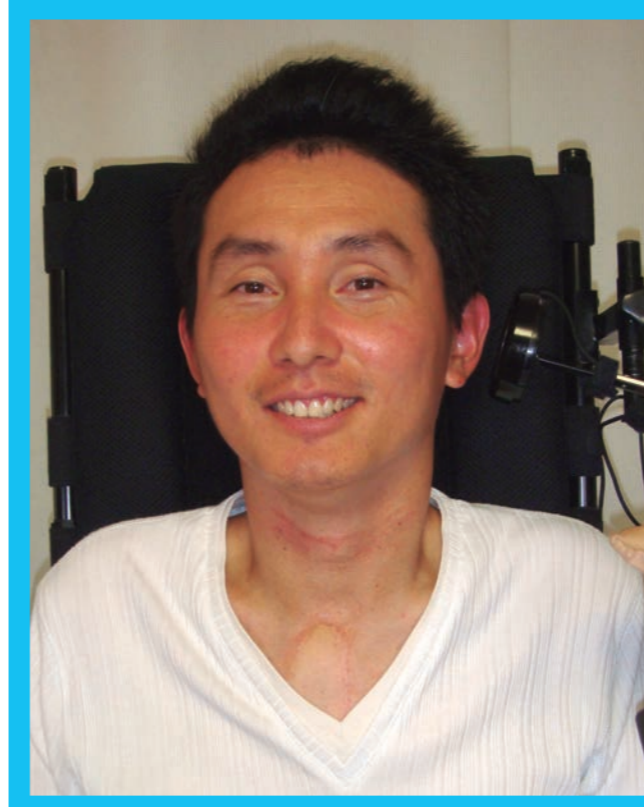
子ども達の活動も、僧侶として大切な役割ではないかと感じ、現代版寺子屋活動を開始しました。虐待待児童の養育、ひきこもり、震災避難者との滞在型支援活動を展開しています。

## 選定理由

公共の福祉への貢献、新たな文化の育成・普及に寄与するものであり、日本放送協会の取り組みと合致しているため。

人間力大賞準グランプリ受賞  
衆議院議長奨励賞  
全国知事会会長奨励賞

# 毛利 公一さん



活動エリア：香川県

所属活動団体：NPO法人ラーフ

推薦：公益社団法人高松青年会議所

経歴：2000年早稲田大学人間科学部スポーツ科学科入学。2004年アメリカ カリフォルニア州語学学校入学。3か月後友人たちと初めて行ったビーチで大きな波に打たれ受傷(C3頸髄損傷)。2005年早稲田大学卒業。2007年講演活動を始める。2008年NPO法人ラーフ設立。2009年日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科入学。2013年社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験合格、日本福祉大学卒業。



## 活動内容

重度障がい者である目線で、「居宅介護部」「やまもも」「支援センターウィズ」の3拠点で事業展開しています。

## 選定理由

福祉や地域のために積極果敢に活動され、地方自治の推進に寄与しており、全国知事会の取り組みと合致しているため。



人間力大賞準グランプリ受賞  
参議院議長奨励賞  
農林水産大臣奨励賞  
経済産業大臣奨励賞

# 塩崎 明子さん



活動エリア：静岡県

所属活動団体：ひまわり2525プロジェクト

推薦：公益社団法人浜松青年会議所

経歴：両親の事業失敗の為、幼い頃から世の中を良くするという使命感のもと、13歳からNPOや学生団体で様々な事業やまちづくりに取り組む。(株)リクルートを退社後は、有限な人生誰もが颯爽と夢を持ち生きられる社会をめざし、(株)颯爽代表として、ルーツを見つめ命の歴史を後世に残す家系図や自分史作成の終活支援等を行う傍ら、ひまわり2525プロジェクト代表、ママジョブネット理事、他多方面で活動。4才、0才児のママ。



## 活動内容

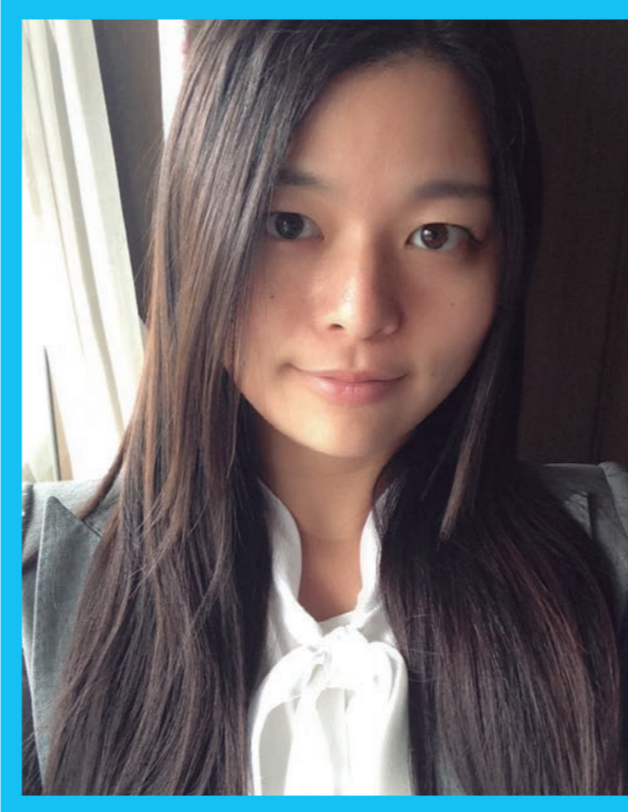
ひまわり畑の観光地を浜松に作り、浜名湖周辺地域の活性化につなげる為、市民や企業を巻き込みひまわり祭を開催しています。

## 選定理由

農林水産省の発展、農業の多面にわたる機能の発揮、森林生産力の増進などに寄与しており、農林水産省の取り組みと合致しているため。経済及び産業の発展に寄与しており、経済産業省の取り組みと合致しているため。

人間力大賞受賞  
文部科学大臣奨励賞  
東京商工会議所奨励賞

# 石原 ゆり奈さん



活動エリア：東京都

所属活動団体：NPO法人国際学校建設支援協会

推薦：社団法人朝霞青年会議所

経歴：上智大学在学中に、ネパールのシュリ・クリシュナ小学校建設支援活動に参加。この時のメンバーを中心に2009年から本格的に途上国の学校建設支援活動をスタートし、対象支援国としてラオスを加える。2011年特定非営利活動法人国際学校建設支援協会設立。代表理事として、日本の大学生ボランティアの教育や組織運営にあたる。ネパールやラオスにも自ら赴き、現地の子どもたちや教師の支援を行っている。



## 活動内容

ネパール、ラオスで教育支援を目的に、学校や図書館、集会所等を建設。継続運営できるよう教員の育成・支援、ヤギの繁殖方法を教えています。

## 選定理由

教育、学術、文化、科学技術の振興に寄与しており、文部科学省の取り組みと合致しているため。また、東京商工会議所から奨励賞の推薦を頂き、若者の夢を支援しているため。

人間力大賞受賞  
(財)まちづくり市民財団奨励賞

# 北村 政記さん



活動エリア：大阪府

所属活動団体：NPO法人ノーベル

推薦：一般社団法人大阪青年会議所

経歴：03年(株)ベネフィット・ワンに入社し法人営業に従事。11年5月よりNPO法人ノーベルにボランティアとして参画、13年4月より正社員として専従ファンドレイザーに就任し、ひとり親世帯に寄付を集めて、低価格で病児保育を提供する『ひとりおかんっ子応援団プロジェクト』を担当。大阪マラソンの寄付先団体に選定される等、約1千万円の寄付実績の目処を立てる。日本ファンドレイジング協会、準認定ファンドレイザー



## 活動内容

訪問型病児保育事業を行っています。第三者から寄付を集める事で、行政には頼らない運営で、ひとり親世帯の就労支援や子どもへの貧困連鎖の立ち切りなどを実現しています。

## 選定理由

「国内の」非営利地域社会発展活動として(財)まちづくり市民財団奨励賞に推奨できるため。

人間力大賞受賞  
厚生労働大臣奨励賞

# 櫻井 理さん



活動エリア：宮城県

所属活動団体：日本筋ジストロフィー協会  
宮城県支部在宅会員

推薦：一般社団法人あぶくま青年会議所

経歴：仙台市立仙台高等学校卒業。6歳の時に筋ジストロフィーの診断。その後、病氣と向き合いながら、たくさんの葛藤を乗り越え、多くの人の支えの中、自然体で充実した在宅生活を続けている。2011年3月11日、東日本大震災では際どい所で辛うじて命を繋ぐことができた。その体験から当事者間のネットワークを構築する必要性を考え、在宅療養者の支援団体「仙台西多賀 ENJOY LIFE STATION」を設立、代表として活動する。



## 活動内容

在宅療養者が、周囲のサポートに感謝しながら、人の絆やぬくもりを大切に、お互いを尊重できるような豊かな社会生活を送れるように、活動を展開しています。

## 選定理由

社会福祉の向上に寄与しており、厚生労働省の取り組みと合致しているため。

人間力大賞受賞  
外務大臣奨励賞

# 永井 陽右さん



活動エリア：ソマリア

所属活動団体：日本ソマリア青年機構

推薦：公益社団法人東京青年会議所

経歴：2011年に国連が発表したソマリアの大飢饉を機に、多くの難民やNGOと交渉を重ね氏族間対立を乗り越え、2011年9月、紛争地ソマリアに特化した初の団体である日本ソマリア青年機構を設立。2012年9月、第7回UNHCR難民映画祭にて初の学生登壇。2013年6月、第5回アフリカ開発会議にてハッサン・ソマリア連邦共和国大統領に直接政策提言と協力要請。10月、グローバルフェスタJAPAN2013にて登壇。



## 活動内容

ソマリア人移住区におけるソマリア人若者ギャング更生プロジェクトでは、潜在的テロリストとして弾圧されている彼らを仲間として受け入れ、多くのNGOと協力し社会復帰を支援しています。

## 選定理由

平和で安全な国際社会の維持に寄与しており、外務省の取り組みと合致しているため。

人間力大賞受賞  
環境大臣奨励賞

# 二村 そよかさん



活動エリア：京都府

所属活動団体：かみひとねっとわーく京都

推薦：公益社団法人乙訓青年会議所

経歴：世界の飢餓問題や環境問題を「懸命に生きる子どもたち」という本で知られました。その本にあるあまりの凄まじさに涙が止まらなかったそうです。自分が現地に行って助けてあげることができないが、この事実を伝えること。そして活動で集めた募金を現地を支援している団体に寄付する事で間接的に子ども達を支援できると想い、2008年にひとり芝居で、飢餓問題・環境問題を伝え始めます。その後全国各地にて活動し現在に至ります。



## 活動内容

イベントで演者として出演。募金を募り国際活動・医療・福祉団体に寄付されています。ひとり芝居のテーマが環境・飢餓問題となっています。

## 選定理由

地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護に寄与しており、環境省の取り組みと合致しているため。

人間力大賞受賞  
(一財)まちづくり地球市民財団奨励賞

# 萩生田 愛さん



活動エリア：東京都

所属活動団体：アフリカの花屋

推薦：一般社団法人町田青年会議所

経歴 アフリカの花屋 代表。米国大学在学中に模擬国連に参加、アフリカの貧困問題にショックを受ける。帰国後、民間企業にてグローバルビジネスを学ぶ。7年目で退職しケニアでボランティアに参加。力強く元気に咲く珍しい模様のケニアのバラに出会い、帰国後Online Store「アフリカの花屋」を立ち上げる。援助でなくビジネスという持続可能な方法により現地の真の自立を促すアプローチによる社会貢献に挑戦中。



## 活動内容

ケニアの子供が安心して学校に通うためには、親に働く機会をつくる事が必要だと考え、ケニアでバラを育て、日本の市場を開拓しケニアに雇用を生んでいます。

## 選定理由

「非営利国際協力活動」として(一財)まちづくり地球市民財団奨励賞に推奨できるため。

人間力大賞受賞  
総務大臣奨励賞

# 廣岡 政幸さん



活動エリア：東京都

所属活動団体：ワンステップスクール伊藤学校

推薦：公益社団法人東京青年会議所

経歴：1981年千葉県生まれ。幼少期に大病を患い足に重度の障害を抱えたためにいじめを受ける。その苦しみが反動となり小学校5年生より喫煙、バイク窃盗、傷害、恐喝など荒れた生活を送り、高校をわずか1年で退学。海外にて2年間の療育プログラムを受け自らの過ちに気づく。帰国後、数多くのボランティア活動を経て青少年のための自立更生の場、ワンステップスクール伊藤学校を設立。一般社団法人若者教育支援センター代表理事



## 活動内容

寄宿型のフリースクール〈ワンステップスクール伊藤学校〉にて障害、引きこもり、非行など問題を抱える青少年を預かり共同生活・職業訓練を通して自立更生を支援しています。

## 選定理由

自立的な地域社会の形成に貢献しているものとして、総務省の取り組みと合致しているため。

## 過去の受賞者支援活動

### 【受賞者支援活動】

#### 秋の園遊会への参加

第27回人間力大賞グランプリ受賞者の長屋宏和氏が人間力大賞運営委員会からの推薦により、赤坂御所で開催された秋の園遊会に招待され、天皇后陛下や安倍総理大臣とお話されました。



#### ゲーグルジャパンとの協働事業

秋の園遊会からのご縁で、昨年の授賞時に長屋宏和氏が温めていたGoogle mapに段差情報を追加することによる、車いす専用のルート検索機能のアイデアを国土交通省の石井審議官にお伝えしたところ、Google社をご紹介頂き六本木ヒルズにある本社でそのアイデアについてプレゼンテーションをさせて頂くことが出来ました。翌週にはアメリカのGoogle本社でその内容をお伝え頂き、人間力大賞事業を全世界で実際に役立つ可能性が高まってきました。



### 【TOYP】

コングレスセンター・ライプチヒにてJCI TOYP アワードセレモニーが行なわれました。

JCI (国際青年会議所) は毎年、JCIの精神にのっとり活動している世界の傑出した10名の若者達の功績をたたえ表彰しています。日本JCIからも人間力大賞グランプリを受賞した若者を、JCI TOYPにエントリーを行っております。今年も2013年に第27回人間力大賞グランプリ受賞者の長屋宏和氏をエントリーし、世界中から150のエントリーが集まる中、セミファイナルのトップ20まで残りましたが、残念ながら受賞には至りませんでした。



TOYP 受賞者10名



TOYP アワードセレモニーにて挨拶をするJCI会頭 シャイン バスカラン君

## 担当委員長挨拶



公益社団法人日本青年会議所  
人財グループ  
人間力大賞運営委員会  
委員長  
照屋孝明

28回目となりました本年の人間力大賞事業を運営するに当たり、多くのご後援・ご協賛を頂き、また大竹美喜選考委員長をはじめとする選考委員の皆様や全国各地の会員会議所の皆様のご協力に対しまして、本事業を担当する委員会の委員長として厚く感謝と御礼を申し上げます。

本年は年間を通して青年版国民栄誉賞としての位置づけを確立することに重点を置いて運動展開をしてまいりました。全国各地で素晴らしい運動をされている若者たちを広く集めることから始まり、過去最高となる185名のエントリーを頂くことが出来ました。そこから各種の選考を経て、ファイナリスト10名の最終選考を一般の方々が多く行き交う東京ミッドタウンのオープンスペースで開催させて頂きました。この設えは、人間力あふれる若者たちの熱いプレゼンテーションが、多くの参加者の意識変革の機会を創出する、人間力大賞という運動が広まることを期待した初の試みでした。結果としてはJCメンバーだけではなく、600名以上の一般の方々にご参加頂くことが出来ました。そして、授賞式典は7月に開催されましたサマーコンファレンスの中で最大の会場となるパシフィコ横浜国立大ホールを使用して、3000名の来場者の前で盛大に授賞をすることが出来ました。その中では初代国民栄誉賞受賞者であります王貞治氏にご協力頂き、スピーチ及び賞の授与、グランプリ受賞者とのトークを通じて、青年版国民栄誉賞としての位置づけ確立を目指す本事業の新たな1ページを開くことが出来ました。人間力大賞グランプリ・内閣総理大臣奨励賞の栄冠は、現代版寺子屋を展開している住職の安武隆信氏に決まり、多くのメディアで発信され、受賞をきっかけに講演依頼が増えるなど安武氏の運動の後押しへとつながりました。

さらに、昨年のグランプリ受賞者である長屋宏和氏のサポートも継続的に行い、その中でも特筆すべきは、春の段階で委員会より推薦をしていた秋の園遊会へのご招待頂いたことです。天皇陛下をはじめとする皇室の皆様や安倍総理大臣との面会によって、人間力大賞受賞者が青年版国民栄誉賞受賞者として認められる機会となるだけでなく、当日の出会いから国土交通省のご協力を得て、以前より温めていた車いすユーザー向けルート検索機能のアイデアをGoogle社と共有し、プロジェクトとして具体的に前進することが出来ました。そして、本年の10名の受賞者達が協力して社会の役に立つ運動展開をする新たな試みも始まり、受賞者と委員会メンバーが一堂に集まる会議を開催することにより、授賞だけにとどまらないサポートをしてまいりました。

結びに、本年は委員長として人間力大賞事業の運営だけではなく、具体的に社会に役立つ運動の広がりを目指して活動してまいりました。事業に触れて頂いた皆様の意識変革が起これ、社会貢献に対する意識を高め「たくましい国」日本を創ることの出来る、意気あふれる人財が活躍することをご祈念申し上げまして、委員長としてのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 協賛企業・団体紹介



### 協賛企業・団体一覧

三井住友海上火災保険株式会社	〒101-0062	東京都千代田区神田駿河台3-9
有限会社カエン	〒640-8255	和歌山県和歌山市舟津町3丁目4
株式会社湊組	〒640-8404	和歌山県和歌山市湊2丁目12番24号
株式会社イヌイ	〒640-8462	和歌山県和歌山市粟421
ユタカ交通株式会社	〒640-8392	和歌山県和歌山市中之島2287
株式会社APO-COMI	〒160-0004	東京都新宿区四谷四丁目32-4-2
ゴウダ株式会社	〒567-0065	大阪府茨木市上郡2-13-14 ゴウダC&Eビル
株式会社ローソン	〒141-0032	東京都品川区大崎1-11-2ゲートシティ大崎イーストタワー7F
有限会社春華堂	〒430-0933	静岡県浜松市中区鍛冶町321-10
株式会社ウィネット	〒080-0027	北海道帯広市西17条南5丁目31-2
株式会社南北	〒641-0035	和歌山県和歌山市関戸5丁目7-6
株式会社万葉社	〒160-0001	東京都新宿区片町1-1バレクリスタル6F
菱岡工業株式会社	〒641-0006	和歌山県和歌山市中島528
日野総合管理株式会社	〒869-1233	熊本県菊池郡大津町大字大津90-1
アフラック	〒163-0456	東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル
財団法人まちづくり市民財団	〒102-0093	東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所会館内
一般財団法人まちづくり地球市民財団	〒102-0093	東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所会館内
有限会社オカムラ運輸	〒424-0855	静岡県静岡市清水区庄福町11番9号
東京商工会議所	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-2-2

## 公益社団法人日本青年会議所 人財グループ 人間力大賞運営委員会

委員長 照屋孝明  
 総括幹事 佐藤ばうろ  
 運営幹事 立入誠悟  
 会計幹事 岡谷厚仁  
 総括補佐 貝塚敬保

副委員長 西田 聡  
 小幹事 村重信二郎  
 阪本喜寛  
 仙石雄嗣  
 戸田隆之  
 古屋裕一  
 大濱 尚  
 倉田 光  
 山田裕士  
 山室博康  
 西林裕起

副委員長 小川敦弘  
 小幹事 神田正道  
 陣 恵  
 中村晃大  
 矢野良一  
 横山孝行  
 桑原和弘  
 新海芳浩  
 内堀伸明  
 小嶋秀和  
 鳥越明子  
 関 和敏

副委員長 齊藤 誠  
 小幹事 安藤友貴  
 上田昭憲  
 泉谷友広  
 固本 徹  
 高橋通彰  
 辻 大輔  
 三原一洋  
 辰田 薫  
 山田一真  
 山崎育洋  
 水主川嘉範  
 北野仁康  
 加藤圭佑

副委員長 伊藤 創  
 小幹事 藤山直也  
 小那覇らうる  
 熊谷康行  
 宮城達也  
 宮本 武  
 田口善久  
 下田恭子  
 湯朝育広  
 松本和之  
 田添太一